

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ



## 私のアナザースカイ

東京都政策企画局外務部企画課 吉岡 絵里奈

### 宝物の3年間

クレアでの日々は私にとって人生の宝物のような3年間となりました。

シンガポール事務所での1年目は、海外出張や近隣国への旅行など充実した日々を送りました。担当した、東南アジア最大級のアニメイベント「C3AFA」への出展では、アニメ好きなシンガポリアンが集まり大盛況、アニメによるインバウンドの大きな可能性を実感しました。



「C3AFA」出展でアニメによるインバウンドPR

2年目はコロナ禍に巻き込まれましたが、週末は国外に出がちなシンガポール人が国内に留まったことが功を奏し、非常に多くの友人をつくることができました。Meetupというアプリでさまざまなコミュニティに加入し、インド・マレーシア・香港など、多国籍な交友関係が広がりました。彼らとそれぞれの国の行事を体験したり、現地の結婚式への参列、お墓めぐりツアー、伝統芸能体験などを通じて多民族・多宗教を実感することができました。

### 異邦人としての教訓

海外派遣を通して得た教訓が3つあります。

1つ目は「目の前の機会を逃さない」ということです。日本では「また今度できる」と思うこともシンガポールでは一期一会です。時には「日本から来たので参加させてください!」と頼み込み、特別に開催してもらえたイベントもあります。

2つ目は「日本(人)への信頼の厚さ」です。私がどのコミュニティに飛び込んでいってもいつでも温かく受け入れて貰えたのは、先人の日本人達が築き上げてくれた信頼の証だと思っています。相手の目には、自分が日本の代表者として映るという心構えで接する事が大切です。

3つ目は「外国人として暮らすことの難しさ」です。コロナ禍の厳しい規制の下、ビザ剥奪の事例や入国の厳格化を目の当たりにしました。外国出身の友人の中には、本国での生き辛さから、シンガポールでの永住権取得を目標とし申請し続けている人もいました。改めて、帰る国があることのありがたさを実感しました。

海外派遣を通して、多様な国籍の友人ができたことで、さまざまな価値観に触れることができ、自分にとって大きな財産となりました。



帰国後は、政策企画局外務部企画課で都市外交に携わっています。2022年度に入ると国際会議なども対面開催に戻りつつあり、全庁的に海外出張の案件も増えてきています。

改めてこのような人生の財産を与えていただいたことに感謝しつつ、またいつか海外での業務に携わることができるよう邁進いたします。

### プロフィール・ほか

- 現所属：東京都政策企画局外務部企画課
- クレア在籍時の所属：
  - 2018年4月～2019年3月 交流支援部経済交流課
  - 2019年4月～2021年3月 シンガポール事務所
  - 2021年4月～ 現職